



2025 年 7 月 25 日
光村図書出版株式会社

親子で読みたい！
「こども」にまつわるエッセイ・アンソロジー
『65 人のこどものはなし』 7 月 25 日（金）発売！

小・中・高等学校向けの教科書を発行する光村図書出版株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：吉田直樹）は、書籍『65 人のこどものはなし』を 7 月 25 日に発売しました。

児童文学雑誌「飛ぶ教室」に掲載した 37 篇の「こども」にまつわるエッセイと、「{こども・大人} 辞典」（28 名）を集めた一冊です。三浦しをん、辻村深月、朝比奈あすか、斉藤壮馬ほか、多彩な書き手たちが、こどもにまつわる“特別な記憶”をつづってくれました。

かつて「こども」だった大人にも、今まさに「こども」真っ最中の人にも、共感できたりハッとさせられたりするエピソードが、たっぷりと詰まっています。子育て中の方にも、これから思春期を迎えるお子さんにも楽しく読んでいただけます。

一つの随筆は 4～5 ページほどと読みやすいので、忙しい夏の読書におすすめ。

また、小～中学生のお子さんが、随筆文を読む入り口としても最適です。



装画：アサバマリエ

『65 人のこどものはなし』の内容構成

● 37 篇の「こども」にまつわるエッセイ

色とりどりの随筆の中から、内容を一部ご紹介！

村田沙耶香「尾上先生コンプレックス」

小学三、四年生のときに担任だった「尾上先生」のおかげで、無邪気なこども時代を過ごせた筆者。成長してからも、尾上先生を忘れられなかった理由とは。

川上和人「進化生物学的よかったさがし」

こどものころ、学校の授業で当てられると真っ赤になっていた筆者が、生物学者になった今、そんな赤面症の「いいところさがし」をする。

町田康「親に似る」

飼い犬を連れて、友人の家に遊びに行った筆者。友人の小学生の娘が、犬と過ごす様子を見ていて感じたこと。

● 28 名による「{こども・大人} 辞典」

「こども」と「大人」の違いを、作家たちがユニークに定義づけてくれました。人はいつまで、こども？ いつまでも、こどもでいられるもの？ 今のあなたは「こども」でしょうか、「大人」でしょうか。

■収録作品

◆「こども」にまつわるエッセイ◆

わたしがこどもだったころ

朝比奈あすか「まこっちゃん」
辻村深月「ママシの記憶」
天野健太郎「子どもの商売」
村田沙耶香「尾上先生コンプレックス」
大沼紀子「私が坊っちゃんだった頃」
中川正子「バカポコの話」
緒方修一「歓声の片隅で」
高山なおみ「私はブタ」
堀川理万子「雨の日の十五時二十分～十六時三十分」
真珠まりこ「子どもだった頃」
名久井直子「暇な子ども」
上條さなえ「十歳の日の私の学校」
小沢真理「北国の子供だった私の」
菱木晃子「『おしめさまのししき』です」
柴崎友香「ある光景」
せきしろ「二人の友達」
マライ・メントライン「世界が変わった日」

こどもと大人のあいだで

彩瀬まる「ちいさな友達」
斉藤壮馬「幻想、喫茶、列車について」
川上和人「進化生物学的よかったさがし」
寺地はるな「それはそれとして」
幅允孝「幅少年のかえりみち」
マーサ・ナカムラ「『天気を祈る』という遊び」
荻原規子「神話を読む子どもの目」
神野紗希「『海』を耕す」
大阿久佳乃「闇とキンモクセイ」
ふくだももこ「憧れ」
中沢けい「子ども時代はいつ終わるのか」
坂川栄治「小さな子ども」

こどもを見つめて

飛鳥井千砂「闘いのはじまり」
山田ルイ 53 世「もーちゃんの横目」
那須田淳「幼稚園の卒園旅行」
斎藤真理子「成仏できない親心」
矢萩多聞「たくましき子どもたち」
こだま「欠けた箸」
町田康「親に似る」
三浦しをん「熱烈な別れ」

◆ {こども・大人} 辞典 ◆

安東みきえ／いしいしんじ／石川直樹／いとうみく／岩瀬成子／岡田淳／岡野大嗣／おくはらゆめ／
如月かずさ／クサナギシンペイ／くどうれいん／小林エリカ／小森香折／斉藤倫／新沢としひこ／
田口ランディ／二宮由紀子／蜂飼耳／東直子／昼田弥子／深緑野分／町屋良平／松田奈那子／
ミロコマチコ／もとしたいづみ／椰月美智子／山下澄人／吉田篤弘

<書籍概要>

タイトル：65 人のこどものはなし

著 者：朝比奈あすか、辻村深月ほか

I S B N：978-4-8138-0676-9

定 価：1,760 円（税込）

仕 様：四六判（188mm×128mm） / 192 ページ

発 行：光村図書出版

発 売 日：2025 年 7 月 25 日

公式サイト：<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/shoseki/tobunohon/book-th015>

■編集担当者より

誰にも、大切な「こども時代」があります。まっすぐに毎日を生きて、心と体で世界にぶつかって、何かに夢中になったり、時にさびしかったり——。そんな“宝物の日々”を、さまざまな分野の書き手たちがつづったエッセイ集です。

色とりどりのエピソードには、「私もこうだったな」と懐かしくなるものや、胸の奥の記憶が呼び起こされるものがあるはずです。ぜひ本書をめくって、「こどもの自分」に、もう一度会いにきてください。

（編集部・久津野）

<会社概要>

[商 号]	光村図書出版株式会社 Mitsumura Tosho Publishing Co., Ltd.
[代 表 者]	代表取締役社長 吉田直樹
[創 立]	1949（昭和 24）年 2 月 26 日
[資 本 金]	3,000 万円
[年 商]	173 億 6,460 万円（2024 年 10 月期）
[従 業 員 数]	239 名（2025 年 4 月現在）
[所在地 / TEL]	東京都品川区上大崎 2-19-9 / 03-3493-2111（代表）
[U R L]	https://www.mitsumura-tosho.co.jp/
[事 業 内 容]	小・中・高等学校用の検定教科書ならびに付帯する出版物の編集・発行 一般書籍・教育書等の編集・発行 学習用ソフトウェアの企画・制作

<本リリースに関するお問い合わせ先>

光村図書出版株式会社 広報担当：児玉 e-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp